

第10回記念岡山県マーチング&バトンステージフェスティバル 審査規定 ～マーチングバンドの音節～

1. 審査・講評内容

(1) 演奏技術

①ピッチ・音程	<ul style="list-style-type: none"> ・チューニングされた音 ・音程の正しい旋律 ・適切なピッチの打楽器
②音色	<ul style="list-style-type: none"> ・響きの良い音 ・それぞれの楽器の特性のある音
③和音	<ul style="list-style-type: none"> ・純正調による美しい和音 ・低音から高音までの適切なバランスの和音
④リズム	<ul style="list-style-type: none"> ・整然とそろったリズム ・統一されたアーティキュレーション
⑤打楽器の奏法	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある奏法 ・管楽器とのバランスを考えた奏法

(2) 演奏表現

①テンポの設定・変化	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の理解、解釈 ・統一感のあるテンポとテンポ変化
②音量の設定・変化	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の理解、解釈 ・統一感のある音量と音量の変化
③フレージング	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の理解、解釈 ・効果的なアゴーギグや歌い方
④バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の理解、解釈 ・各声部の効果的なバランス ・打楽器と管楽器の適切なバランス
⑤アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の理解、解釈 ・豊かな音楽性のある音楽作り

(3) 動きと全体的効果

①音楽と動きの調和	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の理解、解釈 ・音楽の理解、解釈 ・視覚と聴覚の一体性
②姿勢と集団美	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある姿勢 ・完成度の高い統一美 ・効果的な集団の動き
③アイデアとインパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・独創的、効果的な演出 ・アピール度の高い演出
④ポジションワークと ポディーワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・正確なポジション ・完成度の高い図形（ライン） ・正確で完成度の高い動き ・効果的な動き

⑤表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現 ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン ・観客への作品アピールやショーマンシップ ・楽器や手具の正確で効果的な動き
------	---

審査担当者と観点、持ち点

山崎 浩先生 演奏技術 25点 動きと全体的効果 25点

篠原 修先生 演奏表現 25点 動きと全体的効果 25点

小原 弥生先生 動きと全体的効果 25点 (日本バトン準公認指導員)

2. Div1 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。
- (2) 各内容の5つの観点についてA～Eの5段階評価をし、Aが5点・Bが4点・Cが3点・Dが2点・Eが1点に換算し、その合計点を集計する。
- (3) 125点満点を5分の4倍して100点満点に換算したのち、75点以上を金賞、55点～74点を銀賞、54点以下を銅賞とする。
- (4) 同一カテゴリで複数団体のエントリーがあった場合、もっとも優秀な1団体に審査員特別賞を授与する

3. Div2 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、Div1に準ずる。(評価あり、点数なし)
- (3) 同一カテゴリに複数団体のエントリーがあった場合、もっとも観客を魅了したと判断された1団体にフェスティバル賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。